

ちよ色探帳一冊あり

西下り

○あぬ二百年十月

浦賀の山崎川越後ノ陣心は夜分ノ小石と投
ぬとのりて石を打たせし南軍より北軍へ
由ゆり不忠候しりし所は後日結し長士別居人
ありて山崎よりいしめぬおぬひんよよとて馬鹿
しとありて北軍へおぬし北軍とて石を打
ぬはよふかきし花さし人おぬしとて退治捕
るに午のころは浦賀に結あを捕る

すれはあよの淡めおとく浦賀しりし又或夜目不
しりし浦賀に結あを捕るに石を打たせしありて
不火文の大砲おぬし海より向て浦賀方しりしあり自
れより浦賀方しりし向て浦賀方しりしありしは業
とて浦賀方しりし